

教育とはなにか



今年3月、四年間の幼児教育を終えた息子がたけの子を卒園し、この春から市立の小学校に入學します。この日本という国では、まだまだ選べない教育の場所。田舎なら尚更です。2つ上の兄と同じく通う小学校。不安と楽しみとが入り混じって、複雑な心境だと思います。小学校に入った途端、今までの生活とは大きく変わる事がたくさんあります。しつかり座ってなきゃいけない。先生の言う事を聞かなくてはならない。学校のルールでしか遊べない。決められた時間の中で生活しなくてはならないのです。

今までの生活とは全然違う。本当に大変な人生のスタートに、彼は今立っているのだと思います。たけの子の教育方針である、親も子も一緒に成長する、という言葉の通り、私達親子は、この四年間でたくさんのお話を学ばせていただきました。たくさんのお話を学ばなければ学ばない、いかに今の学校教育が古い凝り固まった考えなのか、私にはそう見えて仕方ありませんでした。

たけのこでは子供達が自由に遊べます。もちろん最低限のルールはありますが、子供が主体、子供達の目線で何もかもを見てくれるのです。泥んこで遊びたい。大きな声で、かきまわりたい。その日その日、自分達がしたい事を、したいように、できるのです。

一方現代の小学校はどうでしょうか。子供達のリズム、やりたい事を無視した生活。大人の都合の良いように作られたカリキュラム。その通りに子供達が動かされているだけに感じます。自分がやりたい時に無理に勉強をさせて、果たしてそれは自分の実になるのでしょうか。

戦後、今の日本教育のシステムが作りあげられ、多くの子供達がたくさんのお話を学ぶ事ができるようになりました。格差なく学ぶ事ができるのは、本当に素晴らしいことだと思います。ですがこの時代にあつた教育方法なのか？と考えると、疑問ばかりです。学校に通わせてもらえてあたりまえ。先生の言う事が絶対。ただただ『自分の力で何も考えられない子』だけがが増えていくように思えます。私自身もそんな世代です。これからの世を作っていく子供達が、自分の力で、自分で考え、自らの道を切り開けるように、育ってほしいと思っております。

教育とは、『教え』『育てる』事。
これからの教育が、教育者が、もっとより良い方向へむかっていく事を願って。
(保護者) 佐藤未来

教育って考えれば考えるほど難しいですよ。子供に確信を持って教えられることが少なすぎて不安になるときが多々あります。日々夫婦で葛藤しながら答えを探しています。答えなんてない、悩め！そして自分を信じろ！が答えでしょうか。

日常の営みの中で、無数の言葉を通して、書を通して、移り変わる季節の空気を感じて、地域の暖かさに触れて、心が震える絵を見つめて、笑顔が咲く音楽で踊って、縁で繋がる良き友に支えられて、新しい出会いに力をもらって、美味しい野菜を食べ、生きる喜びをかみしめて。いやあ、書いてて本当に思います。僕が溢れていて、いつも成長させてく



れる。教えてくれる。そうやって一つ一つありがとうをしていくと、悲しかったこと、怒ったこと、自分に怒ってたと気づいたこと、いま嫌だと感じてること、すべて糧にできそうな気がして不思議です。他者を受け入れ、自分に正直でありたい。子供たちに教えられ、妻に助けられてお父さんをやらせてもらっています。たけのこに出会い助けられました。難しく考えすぎていた教育、いろんな考え方があっていいんだと思えました。ありがとう。まだ人生がそうなので少しずつ恩返ししたいなあ。
(保護者) 佐藤大実

寄付や支援をいただいた方々3月 順不同

支援金

渡部 鋭幸 様

土田 英順 様

マゼンダ福島子ども基金 様

園田 明夫 様

モンタナ幼稚園 様

水野 かをり 様

星 すみ子 様

手塚 隆 様

曾根 裕子 様

細谷 洋一 様

楠田 博雄 様

文京学院大学 様

りんご 遠藤 裕紀子 様

梅干し・梅酢・味噌 廣岡 菜摘 様 (こつからネット様)

マヨネーズ パルスシステム 様

ボランティア

大貫 友夫 様 細谷 洋一 様

曾根 裕子 様 文京学院大学 様

